

令和2年度学校自己評価システムシート（県立所沢中央高等学校）

目指す学校像	節度ある生活、考える授業、達成感の持てる部活動を通じて希望の進路をかなえる学校
--------	---

重点目標	1. 規律ある生活態度と自主的に行動する姿勢を養う。 2. 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る。 3. 保護者・地域との連携のもと、積極的な活動を促す。
------	---

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	14名
	生徒	24名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 2 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	○コミュニケーション力と安全意識の向上が求められている。交通安全教育の充実を通じて安全管理についての自覚を促したい。	○基本的生活習慣を身につけるようにし、規範意識を向上させる。	①生徒指導部を中心に、全教職員で統一した指導の取り組みをすすめる。 ②職員全体で情報を共有し、必要に応じて外部機関との連携も行っていく。	①指導内容の見直しが随時行われ、全教職員で共有できたか。 ②外部からの意見に適切な対応ができ、苦情件数が減少したか。	①生徒指導部会議において情報共有をすすめ、それを各学年会議などで全体に共有することができた。 ②地域からの苦情は、減少の傾向にある。	A ひきつづき、部内の会議や各学年会議などを通じて、生徒にかかわる情報の共有をすすめ、早めの対応を行っていききたい。校外でのマナーについての指導もすすめていく。
	○生徒会本部役員を中心に行事運営及び情報発信が活発に行われている。学校全体の活性化を継続して図っていききたい。	○行事に対する全校生徒の関心や積極性を向上させる。	①生徒会本部と各委員会が円滑に連携して行事に関する情報を発信する。 ②過去の記録活用と同時に課題と改善点を記録し、全生徒に共有させる。	①諸行事で生徒が達成感を持つことができたか。 ②過去の反省を共有し、よりよい運営を行うことができたか。	①例年通りとはいかなかったが、できる限り生徒の希望を叶え、行事を実施した。 ②体育祭の暑さ対策など、昨年の問題点に対し、必要な準備をすることができた。	A 来年度も、その時々々の状況に合わせて、内容・構成についての検討し、生徒の希望をできる限り叶えられる行事運営を行う。
2	○家庭での自主的な学習が不足している。 ○進路に対する早期意識付けは定着しつつあるが、自己の進路実現に向けた積極的、主体的取組が甘い。	○授業や課題等を通じて、学習内容の理解や学習意欲の向上を図る	①授業方法や課題内容の工夫を図る。 ②学習への支援を行う。	①週末課題の提出状況と学習時間は向上したか。 ②家庭学習時間は増えたか。課題の取組状況は改善したか。 ③が「ダ」ンスが適切に実施できたか。実力テストの結果は向上したか。 ④保護者への情報発信の機会と内容が適切であったか	①教科の指導により週末課題への取り組みも定着した。 ②1学年で11分2学年で15分(休日)増加した。 ③厳しい日程の中、必要な行事は実施できた。実力テストは現状維持であった。 ④保護者への情報発信が非常に厳しい状況であった。	B 度重なる学校行事のリスクジュールにより、進路決定学年となる3学年の生徒に対するサポートが厳しかったが、この経験を次年度に生かす。また基礎学力向上のための新たな施策や、保護者への確かな情報伝達方法の強化に取り組む。
	○美化委員会を中心とする活動は主体的かつ計画的に実施されている。生徒各自が自主的に生活環境を整える意識を向上させたい ○生徒の関心・読解力に合う資料が不足している。	○緑化及び美化に関わる意識を向上させる。 ○館内資料を充実させ、読書意欲を高める。	①春と秋の植栽活動を美化委員会を中心に、計画的に実施する。 ②美化委員会中心にゴミ分別等をポスター掲示等で呼びかける。 ③適切な選書と資料展示、古い資料の除籍を行う。	①効率よい植栽活動の適切な準備、積極的に参加したか。 ②ゴミ分別等、美化活動が適切に実施できたか。 ③利用者の要望に応える蔵書構成に近づいたか。	校内美化の意識が向上した。 ①植栽活動による校内緑化が生徒の手により充実したものになった。 ②美化委員の生徒による主体的な清掃活動、緑化活動、ゴミの分別を計画的な実施することができた。 ③進路や教科を軸とした選書・展示と除籍を行えた。	A 校内美化意識の向上及び、感染防止対策の一環としてのペットボトルの水洗浄廃棄の徹底について、今後も継続的に呼びかけていく。 地理や民俗の資料が少なく、自館だけではうまく授業を支援できない。来年はこの分野を念入りに選書する。
3	○学校説明会やホームページを通して、本校の様子や魅力をこれまで以上に伝えていきたい。	○本校の教育活動に関する発信の取り組みを改善する。	①全教職員でPR活動に取り組む。 ②部活動状況を含むHPの更新頻度を上げ、情報量を増やす。	①入学希望者が増加したか。 ②HPアクセス数が増加したか。	①入学希望者は昨年度より増加している。 ②HPアクセス数は増加している。定期的な情報発信に今後も努める。説明会の参加者はほぼ満員であった。 ③保護者の安全面を最優先し厳しい状況に対応した。	A 学校全体で情報発信できる体制づくりを行う。説明会等の時期や内容について継続的に検討を重ね、入学希望者の増加を目指していく。
	○保護者や地域から地元に着した高校として高く評価されている。PTAや地域の要望に応えつつ、協力関係を強めていきたい。	○状況に応じて保護者の行事参加を工夫する。	③PTAとの連携を通じ、学校行事等の連絡が確実に保護者に届くよう工夫改善を図る。	③状況に対応して保護者の参加について検討し工夫ができたか。		

学校関係者評価
実施日 令和3年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>地域からの苦情が減少傾向にあることは、日ごろからの徹底した指導、早めの対応がしっかりとされている成果であると思います。 校則やマナーについて、生徒会を中心に生徒が主体となって自律的に順守していくような雰囲気になると良いのではないのでしょうか。 登下校中の制服着用や交通ルール遵守の指導については、生徒さんにとって大切な事ですので引き続きご指導よろしくをお願いします。</p> <p>コロナ禍の中、大学においても授業改善やICT化の取り組みで学生との双方向的な授業づくりが進みました。ピンチをチャンスに活かす、よい機会であったと思っています。生徒も先行き不安の中、たいへんな環境であるからこそ、それを意味あるものに転じていける最高の環境は教職員の皆様以外にないと感じています。 今後も教職員の生徒への熱き思いを含めて、生徒・保護者へ積極的に情報発信することは学校運営に欠かせないものです。継続的な取り組みをお願いいたします。試行錯誤の日々は、もう少し続きそうです。保護者としても、自身の経験を生かせないことが多いようです。意識を改めねば……と痛感しています。</p> <p>HP更新には負担がありますが、新鮮で貴校の良さがわかる、生徒の生き生きさが伝わるものにして欲しいと思います 継続的に学校の魅力・状況を広報し、保護者が教職員の方々を支え協力していただけるような連携が進むことを期待しています。学校とのやりとりにメールやネット環境を積極的に活用できるようにすると助かると感じています。</p>